



**るかこの棚
おすすめ本リスト**

聖路加看護大学の教職員から、学生さんへのおすすめ本リストをお届けします。看護学の本に限らず、若い時に読んで、やっぱり看護師っていいなと思った本、生き方、考え方に影響を受けた本、心の支えになった本、最近読んで、これは！と思った本など、忙しい学生生活であっても是非、時間を作って読んでいただきたい本が満載です。

図書館ホームページにも「おすすめ本」を紹介するサイトへのリンクがありますのでご利用ください。

あなたにとっての「運命の本」との出会いが生まれることを願っています。

2013年4月 聖路加看護大学図書館



死を見つめる心
ガンとたたかった十年間
岸本英夫 著
講談社 (1964年 文庫版 1973年)

PL
740
Ki

現在では多数の「がん闘病記」が出版されていますが、本書は私自身医学生のとくに生まれて初めて読んだ「がん闘病記」で強く印象に残っています。

福井次矢 (理事長)



悼む人
天童荒太 著
文藝春秋 (2008年)

PL
715
2008

大切な人を失った人にどのように問いかけたらよいのかがわかる。
井部俊子 (学長)

書影提供：文藝春秋



PL
715
2001

村上ラヂオ 村上春樹 著

村上ラヂオ2 おおきなななぶ、むずかしいアボガド 村上春樹 著

村上ラヂオ3 サラダ好きのライオン 村上春樹 著

マガジンハウス(2001年、2011年、2012年)

村上春樹のやわらかな文章が心をあたたくしてくれます。

井部俊子(学長)

書影提供：マガジンハウス



PZ
7
Ku

タギーへの手紙
死と孤独、小児ガンに立ち向かった子どもへ

E. キューブラー・ロス 著
アグネス・チャン 訳
佼成出版社 (1998 年)

死を間近にしている人々へのインタビューから、死の受容過程の理論を打ち立てたロス博士が、幼くしてがんになったダギー君からの生と死の間に答えた手紙です。死の捉え方は色々ありますが、慰められる考え方の一つだと思います。「わすれられないおくりもの」とセットで読んでみて下さい。

菱沼典子 (基礎看護学・学部長)



わすれられないおくりもの
スーザン・バーレイ 著 絵
小川仁央 訳

評論社 (1986 年)

PZ
7
1986

「ダギーへの手紙」とセットで読んで欲しい絵本です。年老いて死んだアナグマが、森の仲間一人一人に残した、忘れられない贈り物に皆が気付いた時、次の一步を踏み出していった、悲しみからの回復の物語です。大事な人を亡くした方々に贈りたいと思う絵本です。

菱沼典子(基礎看護学・学部長)

書影提供：評論社



いのちのバトン

志村 季世恵 著

岩崎書店 (2002年)

BF

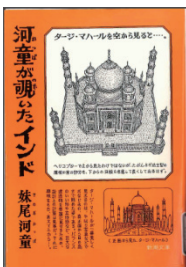
637.06

2002

愛する人との別れが突然やってきたらどうしましょう？家族の死に直面すると、人は絶望し、混乱し、本当の思いが伝えきれなかったり、これまでの確執にこだわったりしてしまうのです。作者は、死に直面する患者と家族を支える仕事をしています。この本を読むと、人を大切にすることとはどういうことなのかということや、本当に大切なことはシンプルなのだということに気づかされます。たとえ時間切れになっても、旅立つ人の気持ちを受け継ぐことができ、再会のときまで、また歩みだせるということ素直に信じられるのです。

長松康子 (国際看護学)

書影提供：岩崎書店



河童が覗いたインド

妹尾河童 著

新潮文庫(1991年)

PL

715

1991

インドに行って、現地の人たちと同じことをして喜んでいる作者が、自分の目線でインドを語ります。作者が描く細密画と俯瞰図は、写真よりリアルにインドの魅力を表しています。特に、屋台や食堂で飲み食いするところを読んだら、飛行機に飛び乗って、インドに行きたくなること請け合いです。

長松康子(国際看護学)



クアトロ・ラガツィー
天正少年使節と世界帝国(上・下)
若桑みどり 著
集英社文庫 (2008年)

DS
857
2008

タイトルの通り4人の天正少年使節と歴史的背景に、著者が膨大な史料にあたり論じた大著。著者の研究者としての取り組みと、少年使節の一人中浦ジュリアンの生き方に圧倒される。この本を読む前と後では世界が違って見えるように思う。どう生きるかということを考えさせられるからであろう。

中村綾子 (看護管理学)

書影提供：集英社

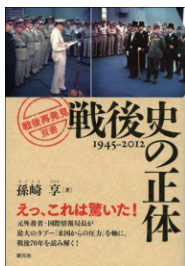


医療と文化
リン・ペイヤー 著
円山誓信、張知夫 訳
世界思想社(1999年)

WA
31
Pa

フランス人は肝臓、ドイツ人は心臓が悪いとそれぞれ言うと指摘し、病気や医療が各国の文化から少なからず影響を受けていることを論じている。「目から鱗が落ちる」という感覚を味わえる本。

中村綾子(看護管理学)



戦後史の正体 1945-2012

孫崎亨 著

創元社 (2012年)

DS

889

2012

戦後の歴史を対米従属と自立路線の2つの視点から分析、解説している本。歴史や政治に無関心な看護学生であってほしくない。

進藤務 (事務局)

書影提供：創元社

定訳 菊と刀：日本文化の型

ルース・ベネディクト 著

長谷川松治 訳

社会思想社(1972年)

GN

357

Be

日本人の恥の文化と欧米のキリスト教に基づく罪の文化を対比する。日本文化の類型、日本人としてのアイデンティティを考察する一助としてほしい。

進藤務(事務局)



B
2430
2012

シモーヌ・ヴェイユ
「犠牲」の思想
鈴木順子 著
藤原書店 (2012年)

フランスを代表する女性哲学者シモーヌ・ヴェイユ。彼女のキリスト教倫理と犠牲の思想に基づいた短い濃い一生を論じた一冊。戦場での看護についての思索などもあり、シモーヌ・ヴェイユの多面的な活動・思想を知ることができる良書。

中山令子 (研究支援室)

書影提供：藤原書店



PL
715
2012

東京プリズン
赤坂真理 著
河出書房新社発行 (2012年)

今年度 (2012年度) 毎日出版文化賞。司馬遼太郎賞を受賞した作品。第二次世界大戦と天皇について今まで語られなかったことが語られる稀有な小説。

中山令子 (研究支援室)

書影提供：河出書房新社



逝きし世の面影
渡辺京二 著
平凡社 (2005 年)

DS
835
2005

自分も大学時代に恩師から読むことを薦められました。読むと勇気づけられると思います。

松崎有希 (事務局)

書影提供：平凡社



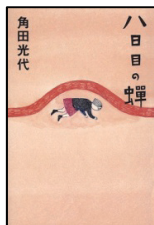
なぜ私だけが苦しむのか 現代のヨブ記
H. S. クシュナー 著
斎藤武 訳
岩波書店 (1998 年)

BM645.p
7
Ku

医療という世界で仕事をしていくためにこういったことも話せるようにならないといけないと思います。日野原名誉理事長が推薦してくださいました。

松崎有希 (事務局)

書影提供：岩波書店



八日目の蝉
角田光代 著
中央公論新社 (2007 年)

PL
715
2007

10年後、20年後、年齢と経験を重ねていく折々に何度でも読み返していただきたい作品です。

牛山真佐子 (るかなび)

書影提供：中央公論新社



徳川将軍家一五代のカルテ
篠田達明 著
新潮新書(2005年)

WZ
70.JJ3
2005

あの将軍さまにこんな持病が？ナースを目ざす歴女のあなたにおすす
めです。

牛山真佐子(るかなび)

書影提供：新潮社



日本経済新聞
日本経済新聞社

大学生の皆さんは毎日のニュースをどんな手段で入手していますか？Webのニュースサイト、twitter、テレビ・・・いろいろなメディアがありますが、ぜひ新聞も手にとってみてください。そして特に日経新聞の面白さを知ってください。ビジネスマン以外は読む必要がないと思っていたらもったいない！医療や福祉など看護学生にも身近な話題について、社会経済的な影響という視点から捉える習慣が身につきます。多様な人が自身の活動を紹介する文化面だけでもチェックする価値有(^_^)b 充実した特集記事には他紙より購読料がお高めなことも納得です。就活対策ではなく、知的好奇心を刺激する読み物として、日経に親しんでみてください。

新沼久美(図書館)



ミラノ霧の風景
須賀敦子 著
白水社 (1994 年)

PL
715
Su

美しい筆致と真摯な生き方に胸を打たれます。何度読み返しても心洗われます。

中島薫 (教務部)

書影提供：白水社



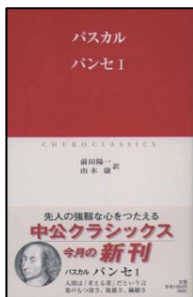
独り居の日記
メイ・サートン 著
武田尚子 訳
みすず書房 (1991 年)

PS
3537
Sa

若い時分、精神的豊かさとは何かについて思い巡らせている折に読み、示唆を受けました。齢を重ねてから再読しようと決めている本です。

中島薫 (教務部)

書影提供：みすず書房



パンセ (1・2)
パスカル 著
前田陽一、由木康 訳
中央公論新社 (2001年)

B
53
2001

来世で救われるのは、現世でよく生きるかどうかとは関係ないという、初めて読んだときには、かなりショックを受ける思想が根底にあります。これは、フランス思想界の底流に流れるジャンセニズムと呼ばれる考え方ですが、少し難しいかな？

廣瀬清人 (心理学)

書影提供：中央公論新社



アーロン収容所
西欧ヒューマニズムの限界
会田雄次 著
中央公論新社(1962年)

PL
715
1962

淡々とした捕虜の経験ですが、これがいかに悲惨なことか。他の戦争ものとは一線を画す内容です。古いけれど、お勧めです。

廣瀬清人(心理学)

書影提供：中央公論新社



マンゾーニ家の人々
ナタリア・ギンズブルグ 著
須賀敦子 訳
白水社 (2012年)

PQ
1714
2012

イタリア系ミッションスクールとのご縁があり、イタリア語の勉強を始めた。そのときに、マンゾーニ著『婚約者たち』という長編小説に出会った。イタリアではダンテの『神曲』とともに中等教育課程でだれもが読むという。イタリアの心性を知る一歩として、まず、『婚約者たち』を読んだ。その後、この『マンゾーニ家の人々』に出会った。19世紀のイタリア統一時代の作家の家族の日常が、女性たちの手紙を通して綴られている。当時の医療の状況なども垣間見え多くを読み取ることができる作品だが、書簡のなかにあふれるあたたかさが何ともいえない。

松谷美和子 (看護教育学)

書影提供：白水社



置かれた場所で咲きなさい
渡辺和子 著
幻冬舎(2012年)

BR
123
2012

生きているといろいろな事があります。きょうもがんばろうと自分を元気にされる本です。

滝本真弓(るかなび)

書影提供:幻冬舎

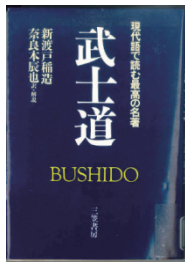


なぜ自信が持てないのか
自己価値観の心理学
根本橋夫 著
PHP 研究所(2007年)

BF
173
2007

おすすめ。 菊田文夫(健康科学・情報科学)

書影提供：PHP 研究所



武士道 現代語で読む最高の名著
新渡戸稲造 著
奈良本辰也 訳 解説
三笠書房 (1993年)

BJ
118
1993

おすすめ。 菊田文夫 (健康科学・情報科学)



小さいことにくよくよするな！
リチャード・カールソン 著
小沢瑞穂 訳
サンマーク出版(1998年)

BF
575.S4
1998

穏やかで愛情豊かな人生を送るためのルールが身につく、“非常に実用的な一冊”です。学生時代に初めて読んで以来、何度も読み返しているお気に入りの本です。

竹下千晶(2号館受付)

おますめ



今日もていねいに。
松浦弥太郎 著
PHP 研究所 (2008 年)

BF
575.S4
2008

日々大事なことを考えさせられる本です。

滝本真弓 (るかなび)

書影提供：PHP 研究所



関いの軌跡：小児がんによる
子どもの喪失と母親の成長
オ木クレイグヒル滋子 著
川島書店 (1999 年)

WS105.5.F
2
Sa

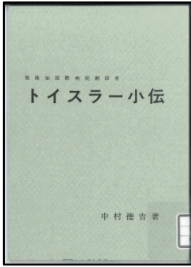
この本は、著者が子どもを小児がんで亡くした母親にインタビューした内容を、グラウンデッド・セオリー・アプローチで分析した研究結果を1冊の書籍にまとめられたものです。リッチなデータをどのようにカテゴライズしたのかなどの研究手法は記載されていませんが（こちらは戈木先生の専門書をご参照ください）、母親の生き生きとしたデータからその時の心情や体験が手に取るように浮かんでくる心を揺さぶられる内容です。

論文投稿では紙幅が限られており、載せきれなかったものも含め、ありありと母親の経験が浮かび上がっています。研究報告とは違った角度で、一般の人にも語りかけてくるものでした。(涙・涙・涙)

質的研究結果の究極の報告の形が、この書籍ではないかと思っています。

高田幸江 (成人看護学 (慢性))

書影提供：川島書店



WZ
100
Na

ルドルフ・ボリング・
トイ斯拉ー小伝
中村徳吉 著
聖路加国際病院 (1983年)

この学舎に集う方々に一度は読んでいただきたいなと思います。Missionに対して、Passionをもって、Visionを示し、Actionするトイ斯拉ー先生のMotivationは私たちに受けつがれているのでしょうか。

直井久枝 (Class of 1979)



BL
311
1978

ギリシア・ローマ神話
トマス・ブルフィンチ 著
野上弥生子 訳
岩波書店(1978年)

エディプスコンプレックス、ナルシストなどギリシャ・ローマ神話が源となっている言葉はたくさんあります。西洋文化理解に欠かせない基礎でもありますが難しく考えず、スペクタクルなエンタテインメント映画を見るようなつもりで気楽に読んでみたらいかがでしょう。

原弘美(るかなび)

書影提供：岩波書店



歩いてわかる中央区ものしり百科
中央区刊行検定委員会 監修
中央区観光協会編
(2012年)

DS
896
2012

中央区観光協会検定のテキストですが、中央区の歴史や街歩きガイドブックとしても充実した内容の本です。何年も築地に通っているのに、学校と病院の往復だけという方も多いのではないのでしょうか。中央区は江戸時代から現在まで日本の中心です。大学の前には忠臣蔵の浅野家の屋敷跡の碑や芥川龍之介の生誕の地の説明板があり、周囲にはたくさんの学校の発祥の地の記念碑があります。また、聖路加病院があったために、この地域は太平洋戦争時の空襲被害をまぬがれたと言われており、昭和初期のレトロな建物がたくさん残っています。この本は中央区をいくつかのエリアに分け、1~2時間でまわれる簡単なコースと見どころをやさしく説明しています。時間に余裕ができたり、気分転換したい時などにこの本を片手に散策するのも楽しいのではないのでしょうか。

原弘美（るかなび）



PL
740
2011

午前〇時のレシピ
真夜中のパン屋さん
大沼紀子 著
ポプラ社 (2011年)

都会の片隅に佇む、真夜中だけ開く不思議なパン屋さんには夜な夜な心の中に秘密を持ったお客さんがやってきます。そしてブランジェたちの優しさと美味しいパンで癒され、忘れていた笑顔を取り戻していきます。この本を読んでいると今までの生活の中に刻んできたいろいろな思い出が甦ってきます。そして少しだけ優しくなれるような気がします。

島田裕司 (財務経理課)

書影提供：ポプラ社



WA
950
2011

病気の「数字」のウソを見抜く
医者に聞くべき10の質問
スティーヴン・ウォロシン、
リサ・M. シュワルツ、
H. ギルバート・ウェルチ 著
北澤京子 訳
日経BP社 (2011年)

エビデンス・ベースト・メデ
ィスン (EBM) の基本にある考え
方が、わかりやす書かれている
のでおすすめできます。

八重ゆかり

(看護実践開発研究センター)

書影提供：日経BP社



病院で死ぬということ
山崎章郎 著
主婦の友社（1990年）
（品切重版未定）

W
9
Ya

高校時代に泣きながら読み、死にゆく人の「生きる」を支える看護師になりたいと思いました。私の看護観のもとになった本です。

大橋久美子（基礎看護学）

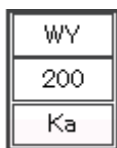
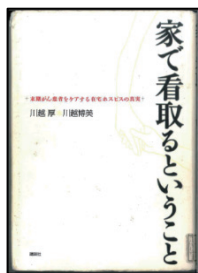


理科系の作文技術
木下是雄 著
中央公論社（1981年）

Q
179
Ki

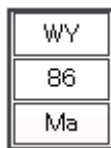
大学院時代に必要に駆られて読みました。文章で自分の考えを相手に分かりやすく伝えるコツが書かれてあります。レポートや論文を書く上で必読です。

大橋久美子（基礎看護学）



家で看取るということ
末期がん患者をケアする
在宅ホスピスの真実
川越厚、川越博美 著
講談社 (2005年)

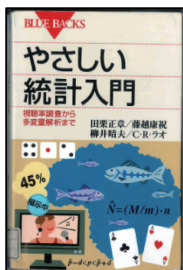
以前、家族が家で最期を迎えようとしていた時に読んだ本。初めてのことで戸惑いと不安が積もる日々…川越夫妻の具体的でいて、かつ温かな言葉に救われました。病院死が当たり前になった現代、誰も教えてくれない本来の「死」の姿がここにはあります。
大垣尚子 (図書館)



ケアの本質：生きることの意味
ミルトン・メイヤロフ 著
田村真・向野宣之 訳
ゆみる出版 (1987年)

「一人の人格をケアするとは、最も深い意味で、その人が成長すること、自己実現することをもたらすことである」この書き出しから始まり、私たちが日頃行っているケアのもつ意味について、考えさせてくれます！

池口佳子(成人看護学
急性・がん看護・緩和ケア)



やさしい統計入門
視聴率調査から多変量解析まで
田栗正章 他著
講談社 (2007年)

QA
276
2007

おすすめ。

柳井晴夫 (大学院 高等統計学)

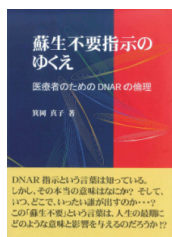


看護を測る
因子分析による質問紙調査の実際
柳井晴夫、井部俊子 著
朝倉書店 (2012年)

WY
20.5
2012

おすすめ。

柳井晴夫 (大学院 高等統計学)



蘇生不要指示のゆくえ
医療者のためのDNARの倫理
笹岡真子 著
ワールドプランニング (2012年)

受入
準備中

DNAR (蘇生不要) の本当の意味は何か?いつ、どこで、誰が出すのか。
この本をきっかけに考えてみよう。

亀井智子 (老年看護学)



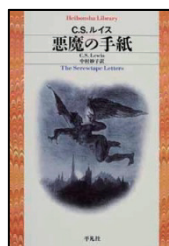
ベナー ナースを育てる
パトリシア・ベナー 他著
早野 Zito 真佐子 訳
医学書院 (2011年)

WY
18
2011

看護師とはどのような職業なのか、そして、看護教育についても考えさせられる一冊です！是非、読んでみてくださいね。

池口佳子 (成人看護学 (急性・がん看護・緩和ケア))

書影提供：医学書院



悪魔の手紙
C.S. ルイス 著
中村妙子 訳
平凡社 (2006年)

受入
準備中

実に新鮮で面白い本。ベテラン悪魔が一人未熟な誘惑者へ送った書簡の中で、人間をつまづかせる「アート」を教える。人間らしく生きることとは何か、鏡に映ったような形で、このユーモラスな本は自分の生き方を見直すきっかけになるかもしれない。

ケビン・シーバー (兼任教授・チャプレン)

書影提供：平凡社



N
1997

夢 Dream

橋口讓二 著

メディアファクトリー (1997年)

全国の高齢者が自分の一番好きな場所で好きな装いで撮っている写真集です。写真の横には、名前・年齢・出身地・同居人・今朝の食事・職歴・今までに住んだ所・今まで行った一番遠い所・行きたい所・今一番の楽しみ・これからの夢についての語りがあります。本としてはシンプルですが、伝わってくるメッセージはとても重く、人々の命・生活・人生を支える地域看護の原点に立ち戻ることができる、保健師としての私のバイブルです。実習前・実習中・実習後に読むと経験の意味づけがぐっと深まると思います。

大森純子 (地域看護学)



WY
115
2010

在宅ケアの不思議な力

秋山正子 著

医学書院 (2010年)

本学出身の秋山さんが在宅ケアについて書かれた本です。第一章では、秋山さんが在宅ケアにかかわったきっかけが記されており、一人の人として、職業人としてどうあるのか、秋山さんのスタンスを通して考えさせられ、私自身、励まされる思いがしました。

小野若菜子 (地域看護学)

書影提供：医学書院



困ってるひと
大野更紗 著
ポプラ社 (2011年)

PL
740
2011

「いま、この社会を、生きるって、たぶん、すごくしんどい。」
大学在学時から難民支援活動に没頭し、さらなる勉強のため大学院に進学した難民研究女子が、ある時突然、自身が「難病難民」になってしまう。診断がつかずにいくつもの医療機関を放浪する「医療難民」と化し、社会制度の谷間に落ち込む、福祉から見捨てられた難病患者の現実を目の当たりにし、「見えない障害」について考えるようになる。「困る」の最果てに陥った、エクストリームな「困っているひと」が、その体験を等身大でパワフル&ポジティブに書きつづっています。

筆者が運営するサイト「わたしのフクシ」もぜひ訪れてください。

http://watashinofukushi.com/?page_id=44

「見えない障害」を持つ人と、その人々への支援のための啓蒙バッジも作っています。「見えない障害」バッジには、とても素敵なメッセージが刻まれています。この本やサイトを通して当事者の現実を知り、同世代の仲間達と、制度や支援についてぜひ一緒に考えてみてください。

小林真朝 (地域看護学)

書影提供：ポプラ社



ヤバい経済学 増補改訂版
スティーヴン・D・レヴィット
スティーヴン・J・ダブナー 著
望月衛 訳
東洋経済新報社 (2007年)

HB
74
2007

社会のいろいろな現象を数字で読み解いてみよう。人はどんなインセンティブで動かされるのか。とても面白く読めます。健康の社会的因子とは何か、どんなインセンティブがあれば人は健康行動を取れるのかなど、ヘルスプロモーションを考えるのに一読すべき本です。ベストセラーとなり、続編「超ヤバい経済学」も出ています。

原語でも分かりやすく書かれていますので、
英語アレルギーでなければ原書でどうぞ！

→ 「Freakonomics」

Freakonomics のアプリもあり、インセンティブにまつわるシミュレーションクイズに挑戦できます。

小林真朝 (地域看護学)



書影提供：東洋経済新報社



それでも人生にイエスと言う
V. E. フランクル著
山田邦男、松田美佳 訳
春秋社 (1993年)

BD
431
Fr

どんな人生にも意味があるというメッセージは深く悩んだときの道標になります

(母性看護・助産学教員一同)

書影提供：春秋社



子どもがいてもいなくても
マデリン・ケイン 著
新谷寿美香 訳
ワニブックス刊 (2001年)

HQ
1216
2001

女性が子どもを持つことがますます困難になってしまった時代。選択、めぐりあわせ、なりゆき…男性もぜひ関心を持ってほしい

(母性看護・助産学教員一同)

書影提供：ワニブックス



人を動かす
D. カーネギー 著
山口博 訳
創元社 (1999年)

BF
637.S8
1999

年代を超えて変わらない人の本質を理解し、尊重して行動する、現代のリーダーに必要な“人を動かす”方法を教えてくれる本です

(母性看護・助産学教員一同)

書影提供：創元社



女って大変。
働くことと生きることのワークライフ
バランス考
澁谷智子 編著
医学書院 (2011年)

WV
9
2011

萱間先生も書いています。ぜひ読んでみてね♪
精神看護学教員一同

書影提供：医学書院

浮世女房洒落日記
木内昇 著
ソニーマガジズ (2008年)

PL
740
2008

るかこで『日記』と検索すると、何と、図書館に74件、るかなびに53件もヒットする。闘病記の類の日記が多いとは感じていたが、こちらは、日記の顔をした小説である。神田の小間物屋女房の江戸目線を通して描かれた、文化・風習など生き生きとした生活が、月ごとの解説と共に楽しめるもの。まるで落語のよう。しかも、江戸傾いやら、頭痛に千切った梅干しをこめかみに貼ることやら、風邪ひきに玉子ふわふわのお料理など民間療法の記述も多く興味深い。何しろあまりに所帯じみたあっけらかんとした記述に感動すること間違いなし。
金澤淳子（図書館）



服薬支援とケアプランに活かす
非定型抗精神病薬Q&A
萱間真美、稲田俊也、稲垣中 編
医学書院 (2012年)

WM
402
2012

精神看護の分野で、エビデンスに基づいた看護を提供するために使える参考書で、看護と医師ら専門家で書いた本です。実習や、在宅医療の場でもぜひ活用してください。患者さんから多い質問に沿って、わかりやすく最新の知識を得ることができると思います。

萱間真美 (精神看護学)

書影提供：医学書院



地球のごはん
世界30か国80人の“いただきます！”
ピーター・メンツェル、
フェイス・ダルージオ 著
池田美紀 訳
TOTO出版 (2012年)

GT
2850
2012

「これだけ?」「こんなに!」とページをめくる手が止まらない1冊。世界30カ国80人の「普通の人」の1日の食事と生活の様子が写真と文章でつづられる。日本の津々浦々を訪ね歩き、お弁当を取材した「おべんとうの時間」(阿部了他著 木楽舎)もおすすりめです。

佐藤晋巨 (図書館)

書影提供：TOTO出版

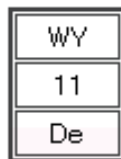


専門職看護の歩み

グレイス L. デロウリィ 著

千葉静香 渡部尚子 他 訳

日本看護協会出版会 (1979年)



『専門職看護の歩み』の訳者序では、1977年のICN東京大会において「プライマリー・ヘルスケア」という言葉が印象に残り、そのなかで重要な役割を果たすために、看護師が専門職としての自立を確立する必要性が述べられています。翻訳者は、専門職としての看護を理解するために、その原点を見直すためにテキストがないかと探していたところ、本書が目にとまったとのことでした。本書では、職業を専門職化するのは、その職業に従事する人々と市民双方を守ることであると指摘し、専門的知識とともに責任と信頼が求められ、それを果たすための教育・業務の水準を維持することが求められるとしています。こうした活動を担うのが協会や学会等の専門職による組織であり、会員つまり専門職間の情報を流通させるのが協会の機関誌や学会誌となります。

図書館員として、日常的に取り扱っている専門雑誌に、このような意味があることを本書で知りました。日本においては、第二次世界大戦後、『看護』をはじめとする、看護雑誌が次々と創刊されました。また、1990年代、大学化がすすむにつれ、『日本看護科学会誌』のような看護学会誌が、いくつも創刊されました。本学図書館に所蔵される、専門雑誌の創刊の辞を読むと、困難の末に実現した喜びや、将来に向けて担う役割への責任感を感じます。本学の職員としては、これらの学協会の組織化、専門雑誌の創刊に、多くの本学卒業生が関わっていることが誇りです。

松本直子 (図書館)

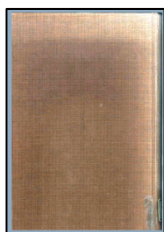
聖路加看護大学生に薦める4冊 日野原重明(名誉理事長)



それでも人生にイエスと言う
 V. E. フランクル著
 山田邦男、松田美佳 訳
 春秋社 (1993年)

BD
431
Fr

書影：春秋社提供



平静の心：オスラー博士講演集
 W. オスラー 述
 日野原重明、仁木久恵 訳
 医学書院 (1983年)

W
9
Os



病者・花：詩集細川宏遺稿詩集
 細田宏 著
 現代社 (1978年)

PL
740
Ho



幸福の王子
 オスカー・ワイルド 著
 曾野綾子訳
 バジリコ (2006年)

PZ
7
2006

